

眞柳泉溪

まらやうせんせき

俳人。

文政五年陸奥國仙臺生れ、明治二十年二月一

日歿（八二一九七）。

諱辰壽、辰廣、通稱半太夫。別號三思庵、去弗、

五梅庵。謙信流の兵學、東條流砲術を修め、弓術槍術劍法等皆印可を

得た。維新の際會津白河等の軍に従ひ、西南役にも従軍。一方文學を

好み、俳諧も五梅庵小島舍用と學ぶ。文久二年選ばれて二世を繼ぎ、

門弟二百餘人を數へた。晩年神宮教中講義を補せられる。

句集『蟹の泡』（小林丈夫校閲、昭和四十一年一月一日岩手・清野精

孝刊）。

